

プラセンタ注射同意書

プラセンタは、ヒト胎盤（プラセンタ）から生理活性成分を抽出した医薬品です。

治療が受けられない方	妊娠、授乳中の方・過去に注射で具合が悪くなった事がある方・献血をする予定がある方。
作用	① 肝疾患の場合、ウイルスやアルコールで壊死した肝組織を修復します。 ② 細胞1個1個の組織呼吸や新陳代謝を高め、細胞機能を活性化します。 ③ 肝臓などに沈着した脂肪の減少や、肝細胞の脂肪変性を改善します。
副作用	プラセンタの主な副作用は、注射部位の疼痛、過敏症（発疹・発熱・掻痒感など）、注射部位の硬結などです。また、本剤はヒト組織由来のタンパク・アミノ酸製剤であるためショックを起こすことがあります。 プラセンタの投与を受けてこのような症状が出た場合あるいは不安に思われた場合は、必ず担当医師にご相談下さい。
ウイルスや細菌等に対する安全性	ウイルスや細菌が製品に混入しないようにするため、次のような汚染防止対策を講じております。 ①原料提供者について医師によるウイルス等感染症スクリーニングを実施。 ②受入試験でB型肝炎、C型肝炎及びエイズ（後天性免疫不全症候群）のウイルス検査に適合した原料を使用。 ③製造工程では、科学的に証明された種々のウイルス不活化処理を実施 ・有機溶剤処理・酸処理・高圧蒸気滅菌処理（最終滅菌 121℃20分）。 ④最終製品についてB型肝炎、C型肝炎、エイズに加え成人T細胞白血病及びリンゴ病のウイルス検査を実施してウイルス等が陰性化していることを確認。 またプラセンタを含めヒト胎盤を原料として製造される医薬品の投与により、感染症が伝播したとの報告は現在まで国内・海外ともにありません。しかし変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）等の伝播のリスクを理論的には完全に否定することはできません。このことから輸血や <u>プラセンタを含めヒト組織や血液を原料とした製品を1回でも使用した方は、献血ができなくなります。</u> *昭和49年の発売開始以来、プラセンタ投与によるB型肝炎、C型肝炎、エイズ、vCJDなどの感染症の報告はありません。
注意事項	皮下に薬液を注入するため、注射針を穿刺した部位の痛みや違和感、内出血を起こす事があります。針を抜いた後にしっかりと押さえ圧迫することで内出血は起こりにくくなります。内出血は、数日で自然と吸収されます。 当院では、 <u>40歳から55歳の方</u> において、更年期障害に保険適応を有する、プラセンタ注射（メルスモン®）の投与を、1本のみ「保険適応」となっています。2本をまとめて注射する場合、1本目を「保険」、2本目からは「自費」とすることは、同じ目的で「保険」と「自費」の両方を使う事が混合診療となり禁じられているため、 <u>プラセンタ注射を2本以上希望の方は「保険適応」ではなく、「全額自費」での対応となります。</u> <u>一本のみの方は、「保険適応」でお受けいただけます。</u> 但し、1週間に3回までとなります。 それ以外の年齢の方に対する「保険適応投与」は、一切行っておりませんので、ご希望の場合は「自費」にての投与となります。
料金	1本：¥1,650 2本目以降：¥1,100（自費の場合）

私は、上記内容及び治療に伴うリスクを含めて理解・確認し、納得した上でプラセンタ注射を受けることに同意致します。

年 月 日

自筆サイン _____

保護者(未成年の場合)自筆サイン _____

緊急連絡先(携帯電話など) _____

ミルディス皮膚科(横浜西口) TEL050-3734-5835